

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、あんま圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和3年2月25日（木）13時30分から15時まで
参加者	委員：16人 事務局：1人 その他：10人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：3人、蒲行動センター：1人、包括支援センターあんま：2人、浜松市社協：2人）
場所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
内容	<p>1 副会長挨拶</p> <p>2 議事 以下2点について協議が行われ、承認された。 (1) 委員について 中ノ町地区の委員について委員の変更があり、新たに1名選出され、承認された。 (2) 会長の選出 委員からの推薦により、中ノ町地区から1名選出され、承認された。</p> <p>3 前回の振り返り 事務局より第1回協議体会議の振り返りを会議録に基づき報告。</p> <p>4 関係機関より (1) バス・タクシー券について 高齢者福祉課より別紙「高齢者社会参加促進事業」を用いて説明。 (2) 10月30日に開催した法人間の話し合いについて 事務局より「地域課題である買い物支援について法人として協力いただけそうなこと」について地域の4法人と関係機関とで話し合った内容を報告。</p> <p>5 グループワーク 地区ごとに分かれて進捗状況の確認と、新たな課題がないかなどを協議。</p> <p>6 各地区からの報告 前回から今回の会議までの進捗状況と地区ごとに話し合った内容について報告。</p> <p>中ノ町地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人間の話し合いの中で買い物支援については地区を限定し、モデル的に行うとの提案があったため、まずは以前アンケートをとった白鳥町で行いたい。 ・白鳥町のロコモ評価の際に、基本チェックリストを実施し、住民主体サービス補助金の対象者となる方がどのくらいいるか確認していく。 <p>蒲地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手と事業の継続について話し合い、家事支援の活動は続いているが、担い手に関しては不足している状況が続いている。 ・メンバーを女性だけでなく、男性にも参加してもらい活動を広めていく必要がある。 <p>和田地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援については、法人だけでなく、スーパーへの声かけや宅配の活用も検討。 ・困っている人がどのような支援を求めているのか、モデル地区を決めてアンケートを行ってみたい。次回、モデル地区を決める。 <p>7 副会長挨拶</p>

今後の
見通し等

次年度第1回協議体会議は令和3年6月23日（水）13時30分～東部保健福祉センター健康教育室・集団指導室にて開催する。